

積極的な生徒指導を活かした学力充実

南丹市立園部中学校

全国学力・学習状況調査の結果における特徴

本校では、全国学力・学習状況調査の結果を教科の状況、個人の状況、経年比較、質問紙調査から明らかになる実態や変容をもとに学力向上・研究推進部を中心に教科部会で分析して職員会議で全教職員が共有し、改善の具体化を図っている。

- 1 学力分析：主な状況（○・・・相当数が出来ている ●・・・苦手としている）
 - 【国語】○表現技法 ○文章の推敲 ●語彙力 ●読解力 等
 - 【数学】○数と式の領域 ●関数の領域 ●方針を立てて証明すること 等
 - 【理科】○観察・実験の技能 ●物理的領域 ●地学的領域 等
- 2 質問紙調査から見た主な成果と課題（○・・・成果 ●・・・課題）
 - すべての授業で日付、指導回数、めあてを板書し、振り返りを実施する。そしてそれらをノートに明記させること
 - 個々の考えをより高めるための、少人数グループによる話し合いと練り合い
 - 授業で学習した内容の振り返りと定着を図り、家庭学習につなげるための朝テスト
 - ゲーム、携帯スマホの適切な使用 ●新聞を読む 等

全国学力・学習状況調査の結果に寄与したと考えられる取組

- 1 指導者の力量向上に向けて
 - (1) 定例の教科部会により学力分析と方針を検討・確認
月一回、水曜日を基本に教科部会を実施する。
 - (2) アクティブラーニングの手法を全教科で実践
全教科で主体的な学びをするために4人グループを基本とした練り合いをさせ、意欲的な学習場面を創造する。
 - (3) 授業者の基本姿勢自己チェック（資料参照）
人権教育、特別支援教育、生徒指導の視点を盛り込んだ授業チェックリストを活用して、指導者自身の振り返りを行っている。
 - (4) 園部中学校ブロック校種間連携推進協議会の活性化
園部中学校ブロックで保幼小中の園・所・学校が校種を超え連携し、全員が教科と領域に所属し、年間を通して指導力を高める組織的な取組をしている。

2 学びに向かう集団づくり

- (1) 学級集団を育てる
 - ・ 学ぶための基本的事項の確認
 - ・ 短学活（朝の会・終わりの会）の重視
 - ・ 全校定例リーダー会の設定
 - ・ 自己存在感、共感的人間関係、自己決定を生む学級づくり
- (2) 年間を通じた授業評価（資料参照）



積極的な生徒指導の視点による授業指導			
氏名()			
生徒指導	自己存在感を育てる授業チェックリスト	採	評
1	名前を呼んだり、目を見て話すなど子どもに自己存在感を持たせるようにしていますか。		
2	間違えを大切にしたり、どんな発言も大切にできるようにしていますか。		
3	「つぶやき」を積極的に取り上げて発表の機会をあたえていますか。		
4	子どもが互いに協力して学習できるように、少人数のグループ学習を取り入れていますか。		
5	全員が参加できている気持が持てるように発問などを工夫していますか。		
6	授業に意欲が出せたり、学力がついていない子どもでも授業に参加できる工夫をしていますか。		
7	授業の中で「よくできた」「がんばっているなあ」といった承認や評価、励ましの言葉を積極的に発していますか。		
8	子どもの実態を把握し、授業のどの部分でどの子を生かすか工夫していますか。		
9	多様な考えを提示し、互いの考えに気づかせる工夫をしていますか。		
10	発言をしない子どもへの心配りに努めていますか。		
生徒指導	共感的人間関係を育てる授業チェックリスト	採	評
1	よい姿をほめ、好ましくない姿を正すようにしていますか。		
2	たとえなくても発言が終わるまで待たせ、内外の意見や考えでも熱心に聞くように心がけていますか。		
3	間違っても笑わず、安心して発表できるよう指導していますか。		
4	子ども一人ひとりを受け入れて認めたり、子どもの人間性を認める姿勢を大切にしていますか。		
5	仲間や意見を尊重し、声を出しつづなずき、拍手したりするよう促していますか。		
6	相互評価を入れ互いの良さを認め合えるようにしていますか。		
7	人間同士として自己開示をし、子どもから学ぶ姿勢を持っていますか。		
8	教師の強みだけでなく、子どもが見返しを持って主体的に授業に参加できるチャンスを提供していますか。		
9	発言をつなげながら集団での学び合いとなるようにしていますか。		
10	チャーム（時間）で授業をはじめ、チャームで授業を終えるようにしていますか。		
生徒指導	自己決定の力を育てる授業チェックリスト	採	評
1	授業の4ポイント（日付・授業時間、めあて（持ち帰り）・めあて持ち帰り）によって子どもがめあて・関心をもち、主体的に学べるようにしていますか。		
2	授業の終わりに2分の1課題の「授業評価」を入れ、子どものやる気を高めるようにしていますか。		
3	主体的な学びにつながる個に応じた支援を行っていますか。		
4	学習課題や学習方法、学習形態など子ども自身が選択出来るようにしていますか。		
5	一人調べを取り入れたり、一人で考える時間を十分に与えていますか。		
6	思考場面や観察場面、考えたり観たりする視点を示していますか。		
7	教育機器の活用を図ったり、多様な教材、教具、資料を準備していますか。		
8	子どもが今日の学習を振り返り、今後の学習について考える場を設けていますか。		
9	自分の考えをほめてきたり、思考過程がわかるようなノートの取り方の指導を工夫していますか。		
10	対立意見を生むような発問の工夫と子ども自身が自分の考えをみんなの前で発表する場を確保していますか。		

授業チェックリスト

毎時間、学級集団としての授業への集中度を指導者から評価するが、一方的な評価でなく、指導者の自己評価も交えて評価する。また、授業の終末に頑張りや二つ認め、課題を一つ提示して、それを評価用紙に記入することで、前時の状況を次の指導者が把握した上で授業を進められる、指導者の連携ツールとなっている。

また、終学活で一日を振り返る中で課題を明確にし、それを克服する目標を持たせている。授業評価オール5が5回達成できると、校長より「オール5達成証」を授与している。

(3) 配膳読書の実施

配膳中、給食当番以外は同じ教室で静かに読書をする。学力向上につながる読書機会の確保と仲間の頑張りを感じつつ、食への意識を高め穏やかな雰囲気を築いてスムーズに給食を迎えることにつないでいる。より配膳読書がしっかり行えるように生徒会からも呼びかけている。



配膳読書

3 全校集団づくり

(1) 生徒会活動の活性化

次年度の役員を決定する生徒会選挙をはじめとして、自治活動への意識を高める取組を、生徒会本部がリードすることで、生徒の生徒会活動に対する主体的な意識を向上させる。



生徒会選挙

(2) 『蕾プロジェクト』による年間を通した異年齢集団活動

思春期のピークを迎える時期だからこそ敢えて年間を通した異年齢集団（ブロック）活動を取り入れている。そこでは信頼と尊敬を集める先輩の姿と、先輩を目指したくましく伸びていく後輩の姿を追求させていくことをねらいとしている。この『蕾プロジェクト』は生徒会で確認し、6月にはブロック結成のためのアピール集会（クラスの団結を全校に示す集会）を実施し、ブロックを決定する。その後、1学期末のブロック結成集会をスタートに体育祭、文化祭、生活向上運動、ブロック対抗球技大会を行い、3学期初めには進路実現を目指す先輩からの学習へのアドバイス、合格祈願メッセージなどを交流する。



アピール集会



ブロック進路学習

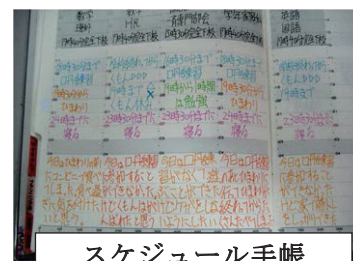
4 家庭学習への意識向上

(1) 家庭学習の手引きと朝テストの実施

家庭学習の定着に向け、生徒には各教科からのアドバイスの冊子、また、保護者には協力依頼文書を配布する。家庭学習が生きることを重視した朝テストを実施し、授業→家庭学習→朝テスト→補充学習を含めた振り返りのPDCAサイクルを実践している。

(2) 自己指導能力向上に向けた生活手帳の導入

一日のめあてや日程を書いたり家庭学習の計画を立てたりできる中学生用のスケジュール手帳を持たせ、担任や教科担任、部活顧問等で積極的に活用を促し、自己指導能力と家庭学習への意欲を高める。



スケジュール手帳

5 年間を通した補充学習

平常の放課後に「中1ふりスタ」、「中2学力アップ」、3年進路対策等の補充学習や定期テスト対策として質問教室等を実施している。

6 保護者・地域住民・関係諸機関との連携

家庭訪問、ホームページ、学校だより、学年通信、学級通信、地区別懇談会等に加え、関係諸機関との連携など、学校をプラットフォームとして豊かな教育力につながる実践をしている。

月日		10/26
曜日		月
1	教科	国語
	ベル差 挨拶	0 / 0
	授業評価	4
	コメント	かなり集中し、発言も活発でしたが、忘れ物をした人が数名いて残念。
2	教科	数学
	ベル差 挨拶	0 / 0
	授業評価	5
	コメント	完璧です！拳手もムードもこの調子でいこう！
3	教科	保体
	ベル差 挨拶	0 / 0
	授業評価	4 (5+3)
	コメント	男子は5の評価。よく頑張った。 女子は服装忘れがあり3でした。

授業評価用紙